

⑦5 「ADRI」サイクルで行う広報研修について ～コミュニケーションから生まれる新たな建設の魅力～

受賞機関 長野県 建設部（広報推進チーム）

キーワード 広報推進チーム、「ADRI」サイクル、
「伝わる」・「動かす」広報、コミュニケーション

全建賞審査委員会の評価ポイント

広報研修の実効性向上を図るため、独自に「ADRI」サイクル型研修を考案し実施した。伝わる広報とターゲットを動かす効果を通じて、建設の魅力発信を強化した。「ADRI」サイクル広報研修が職員の広報スキルを向上させるとともに、世代間コミュニケーションの活性化により、具体的な成果を挙げた点やSNSの定量評価を活用して公共事業への理解・信頼を向上させた点が評価された。

1. はじめに

長野県建設部では、平成28年度から「広報推進チーム」を発足し、職員の広報のスキルアップを目的に研修を行っているが、職員から寄せられる広報の悩みは毎年変わらず、研修を実務に活かせていないと感じていた。

そこで、今回「Analysis（分析）」、「Do（実行）」、「Review（評価）」、「Improvement（改善）」を繰り返す「ADRI」サイクルによる広報研修を独自に考案し、実施した。この研修による「伝わる」、「動かす」効果及び、コミュニケーションから生まれる新たな建設の魅力について、広報事例を紹介する。

2. 事業の概要

ADRIサイクルによる研修では、まず各班に分かれ、「広報の勘所」整理シートをもとに広報の勘所を整理し、職員同士のコミュニケーションを通じて伝える相手の「分析」を行う。この分析結果に基づいて、実際に投稿する文章や写真を検討し、班ごとに広報の勘所の整理結果及び投稿内容のプレゼンテーションを行う。

研修で作成した投稿内容を実際に投稿（実行）し、投稿した内容への「評価」（“いいね”数、リツイート数、

メンション、講師からのアドバイス等）を次の研修の際に発表する。さらに、次のテーマの検討の際に、評価結果を踏まえた改善を行う。これを繰り返し実施することが、ADRIサイクル研修の特徴である。

3. 事業の成果

取組の成果として、本県の都市公園である松本平広域公園でのイベント「サンプロアルウィン無料開放」の告知で行った事例を紹介する。

令和4年度の投稿は、イベント開催の告知のみであったが、研修実施後の令和5年度は、サンプロアルウィンが、どのような施設で、どのようなことができるのか、そして参加者のメリットがわかりやすく記載され、相手に「伝わる」・「参加したくなる」内容となった。

研修を踏まえた投稿の結果、X（旧Twitter）のリツイート数及び“いいね”数では、前年より7倍の“いいね”数を獲得できた。また、応募者数も、募集期間が同じであったにもかかわらず、令和4年度の98名に対して令和5年度は276名と約3倍に増加した。

広報研修会 広報の勘所整理シート

- ① 広報テーマ
- ② 広報の目的
- ③ ターゲットはだれですか
- ④ ターゲットに伝えたい内容はなんですか
- ⑤ ターゲットに動いてほしいことはなんですか
- ⑥ ターゲットのメリットはなんですか
- ⑦ 以上からイメージされる写真・キーワードは

広報研修会 投稿シート

広報テーマ:

投稿文

合計140字以内

#ハッシュタグ

写真・動画
(文字で表現してもOK)

広報の勘所整理シート

研修資料

投稿シート



令和4年度

令和5年度（研修後）

SNSの投稿

4. おわりに

今後もADRIサイクル広報研修を継続することで、広報推進チームの活動を通じて、長野県建設部全体の広報が、さらに「伝わる」・「動かす」広報となるよう、コミュニケーションを大切に取り組んでいきたい。